

病理診断科



診療科紹介 HP

診療部長紹介

病理診断科を担当している小池と申します。腎臓病学の病理診断を専門としております。腎臓病には、ネフローゼ症候群、急性腎炎、慢性腎炎などがありますが、ネフローゼ症候群と診断される患者さんの疾患には巣状分節性糸球体硬化症、膜性腎症、糖尿病性腎症、アミロイドーシスなどの多数の糸球体疾患が考えられ、それらを鑑別診断することが当院における私の役割です。また、当院は腎臓移植を実施できる数少ない施設ですので、移植患者さんのグラフトやグラフト外の全身に発生する疾患の診断にも対応しております。



診療部長

小池 淳樹 (主任教授)

診療科の特色

病理診断科は病院で採取される臓器・組織の診断を行う部署で、すべての診療科と連携しながら診療に参画しております。実際の業務内容には、生検および切除検体の診断、細胞検体の判定および病理解剖が含まれます。近年の診療技術の進歩、とりわけゲノム医療の導入や生物学的製剤による治療などにより、病理診断に求められる病変の情報が様変わりしております。聖マリアンナ医科大学病理診断科では、常に最新の知見を病理診断に導入し、診療に寄与できるよう体制を整えております。

患者さんのご紹介について

 聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

 044-977-8111 (代表)

紹介受付時間：平日 8：30～15：00
土曜 8：30～11：00

 044-975-0608

医療機関からのWEB予約サイトはこちら

 [聖マリアンナ医科大学病院
患者さんの紹介について](#)

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター

